



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL http://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 072-224-5115
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	42,671	4.7	2,694	21.3	2,063	13.1	967	62.7
28年3月期第2四半期	40,775	△2.6	2,221	△40.7	1,824	△46.5	594	△74.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 290百万円 (△48.5%) 28年3月期第2四半期 563百万円 (△77.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	10.16	—
28年3月期第2四半期	6.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	102,729	49,066	47.8	515.04
28年3月期	104,535	49,730	47.6	521.99

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 49,066百万円 28年3月期 49,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

29年3月期第2四半期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,200	3.2	6,260	△1.7	5,500	1.8	1,500	233.9	15.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	95,452,914株	28年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	184,613株	28年3月期	183,656株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	95,268,301株	28年3月期2Q	95,271,876株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

29年3月期の第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりであります。

基準日	第2四半期末
1株当たり配当金	10円00銭
配当金総額	952百万円

(注) 純資産減少割合 0.014

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和等を背景とした企業収益や雇用環境の改善等が見られ、緩やかな回復基調にはあるものの、英国のEU離脱や新興国の経済的成長の減速に対する懸念により国際情勢が不安定であることから、景気の不透明感は継続しています。

このような状況の中、当社グループは自社アプリである「ラウンドワンアプリ」を利用し、アプリゲームを媒体とした「アプリゲーム大会」の実施、定期的なクーポンの配信を行いました。また、高校生6人組グループ「Little Gree Monster」のオリジナルグッズがもらえるチャレンジイベントを行う等、新たな来場動機の創出に積極的に努めました。国内既存店の売上は引き続き軟調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高42,671百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益2,694百万円（同21.3%増）、経常利益2,063百万円（同13.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益967百万円（同62.7%増）となりました。

当社グループは、総合アミューズメント事業の単一セグメントとしているため、セグメント別の業績を記載いたしていません。また、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間など長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で業績の偏りが生じます。なお、サービス別の業績は次のとおりであります。

①ボウリング

「ラウンドワンアプリ」を利用し、スコアではなくストライクの数で競い合うアマチュア競技会「ストライカーズ」を実施しました。また、「ムーンライトストライクゲーム」の達成で無料でプリクラが撮影できるラウンドワンオリジナル機「Rism(リズム)」の全店導入、「Little Gree Monster」のオリジナルグッズがもらえるチャレンジイベントの実施など、幅広い客層に向けた企画を実施する事による集客に努めました。前年同四半期に比べて0.7%の減収となりました。

②アミューズメント

第1四半期に引き続き「艦これアーケード」の人気に加え、クレーンゲームに人気映画、人気アーティストのキャラクター・グッズ等の景品を導入しました。また、メダルゲームにおいては、「FISHING SPIRITS」や「マリオパーティ ふしぎのチャレンジワールド」などの大型メダルゲーム機の導入を積極的に行い、集客に努めた結果、前年同四半期に比べ10.9%の増収となりました。

③カラオケ

人気アイドルとのコラボルーム企画の実施や「Little Gree Monster」のオリジナルグッズがもらえるチャレンジイベントを行った結果、前年同四半期に比べて2.8%の増収となりました。

④スポッチャ

第3四半期以降に本格導入となる「ナインボット by セグウェイ」を一部の店舗に先行導入しました。また、誕生日のお客様に「Little Gree Monster」のオリジナルグッズのプレゼントを行いました。前年同四半期に比べて2.9%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,806百万円減少の102,729百万円となりました。この要因は、現金及び預金が2,541百万円減少したこと等による流動資産の減少2,586百万円と、リース資産の2,244百万円増加、繰延税金資産が382百万円減少したこと等による固定資産の増加780百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,143百万円減少の53,662百万円となりました。この要因は、リース債務が1,705百万円増加したこと等による流動負債の増加1,107百万円と、長期借入金が2,413百万円減少したこと等による固定負債の減少2,250百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ663百万円減少の49,066百万円となりました。この要因は、配当に伴う資本剰余金の減少952百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加967百万円、為替レートの変動による為替換算調整勘定の677百万円減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月9日に公表しました通期の連結業績予想の売上高を86,200百万円（前回発表予想87,100百万円）、営業利益を6,260百万円（前回発表予想6,060百万円）に変更しております。この主な要因は、当初の閉鎖予定店舗の閉鎖時期が確定したことにより、第3四半期以降の売上高及び売上原価の減少が見込まれるためであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ14百万円増加、税金等調整前四半期純利益は同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,199	20,657
売掛金	647	405
商品	388	393
貯蔵品	1,188	1,178
その他	2,293	2,495
流動資産合計	27,717	25,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,428	70,502
減価償却累計額	△35,291	△34,648
建物及び構築物(純額)	36,137	35,853
土地	6,374	6,045
リース資産	27,467	28,429
減価償却累計額	△14,242	△12,959
リース資産(純額)	13,225	15,469
その他	18,105	17,907
減価償却累計額	△13,425	△13,481
その他(純額)	4,680	4,426
有形固定資産合計	60,417	61,795
無形固定資産	167	177
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,135	4,753
差入保証金	10,695	10,518
その他	401	353
投資その他の資産合計	16,232	15,624
固定資産合計	76,817	77,597
資産合計	104,535	102,729

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	477	436
短期借入金	678	678
1年内償還予定の社債	170	170
1年内返済予定の長期借入金	6,364	5,457
リース債務	7,494	9,199
未払法人税等	620	440
その他	5,286	5,816
流動負債合計	21,090	22,198
固定負債		
社債	1,105	1,020
長期借入金	14,509	12,096
役員退職慰労引当金	278	289
リース債務	8,544	9,012
資産除去債務	6,386	6,224
その他	2,889	2,820
固定負債合計	33,714	31,463
負債合計	54,805	53,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	24,543	23,590
利益剰余金	272	1,239
自己株式	△328	△329
株主資本合計	49,508	49,522
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	360	△317
その他の包括利益累計額合計	221	△455
純資産合計	49,730	49,066
負債純資産合計	104,535	102,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	40,775	42,671
売上原価	37,572	38,900
売上総利益	3,202	3,770
販売費及び一般管理費	981	1,076
営業利益	2,221	2,694
営業外収益		
受取利息及び配当金	46	12
業務受託手数料	18	20
販売協力金収入	20	23
その他	52	44
営業外収益合計	137	101
営業外費用		
支払利息	430	294
為替差損	—	408
その他	104	29
営業外費用合計	534	732
経常利益	1,824	2,063
特別利益		
固定資産売却益	—	16
受取保険金	—	66
特別利益合計	—	82
特別損失		
固定資産除却損	190	190
減損損失	292	118
災害による損失	—	68
店舗閉鎖損失	—	232
特別損失合計	483	609
税金等調整前四半期純利益	1,341	1,536
法人税、住民税及び事業税	255	124
法人税等調整額	491	444
法人税等合計	746	568
四半期純利益	594	967
親会社株主に帰属する四半期純利益	594	967

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	594	967
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△30	△677
その他の包括利益合計	△30	△677
四半期包括利益	563	290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	563	290
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。